平成　21　年度　**事務事業マネジメントシート**　作成日　平成　21　年　8　月　31　日作成

事務事業名	コード 51850	図書館管理・運営事業			
政策名	総合計画体系 03	地域性を活かし魅力ある煌めくまち	所属部 教育委員会	所属課	生涯学習課
施策名	01	学校教育・生涯学習の充実	所属係	課長名	細田義秋
基本事業名	02	生涯学習の充実		電話番号	0883-72-3900
				（内線）	7-73-310
予算科目	会計 1	款 9	項 5	目 4	（9-5-1　井川指定管理料）
法令根拠	図書館法				
事業期間	☐ 単年度のみ　☑ 単年度繰返（開始年度　H18　年度 ～ ）　☐ 期間限定複数年度→全体計画の投入量を記入（　年度 ～ 　年度）				

事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

平成20年度事業として蔵書検索システムを導入した。三好市には図書館法に基づく図書館が池田図書館、井川図書館の2館がありさらに社会教育法に基づく公民館の事業として三野、山城公民館に図書室を設けている。また東祖谷は郷土文化伝習施設の一室に図書室を設けている。図書館の運営については、池田図書館は、三好市池田町図書館運営協会に委託。井川図書館は井川ふるさと夢企画（株）を指定管理者としている。予算「池田図書館43532千円」「井川図書館25844千円」施設維持管理、図書購入、委託料、指定管理料等

全体計画（期間限定複数年度のみ）　（単位；千円）

総投入量			
事業費	財源内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
	事業費計（A）		0
人件費	正規職員従事人数		
	延べ業務時間		
	人件費計（B）		0
トータルコスト(A)+(B)			0

1　現状把握の部（DO）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）

20年度実績（20年度に行った主な活動）

池田図書館は三好市池田図書館運営協会に委託。井川図書館は井川ふるさと夢企画（株）に委託し図書の貸し出しを増加させ市民の読書振興を図った。

21年度計画（21年度に計画している主な活動）

前年同様と同様、本年度は移動図書館車購入、池田図書館移転事業を計画

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

市民

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

市民の読書振興を図る

④ 結果（どんな結果に結び付けるのか）

市民が生涯を通じて「いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも」学び、社会参加できる生涯学習社会の実現を目指すことが必要である。

⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	蔵書の充実	冊
イ	読者（延）	人
ウ	貸出数の増加	（延）冊

⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	市民	人口
イ		
ウ		

⑦ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	読者（延）	人
イ	貸出数	冊
ウ		

⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）数字は記入しない

	名称	単位
ア	図書館利用人数	人
イ		
ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度（実績）	19年度（実績）	20年度（実績）	21年度（見込）	22年度（成行予測）	23年度（成行予測）	24 年度（成行予測）
投入量	事業費	財源内訳 国庫支出金	千円							
		財源内訳 都道府県支出金	千円							
		財源内訳 地方債	千円							
		財源内訳 その他	千円							
		財源内訳 一般財源	千円	9,998	36,490	69,376	59,981	40,000	40,000	40,000
		事業費計（A）	千円	9,998	36,490	69,376	59,981	40,000	40,000	40,000
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	120	120	200	240	120	120	120
		人件費計（B）	千円	456	456	760	912	456	456	456
	トータルコスト(A)+(B)		千円	10,454	36,946	70,136	60,893	40,456	40,456	40,456
活動指標	ア		冊	121,848	122,021	121,091	127,453	127,453	127,453	127,453
	イ		人	21,868	26,298	24,947	24,120	24,120	24,120	24,120
	ウ		（延）冊	111,629	109,924	109,916	108,643	108,643	108,643	108,643
対象指標	ア		人口	34,623	33,845	32,393	31,278	30,163	29,048	27,933
	イ									
	ウ									
成果指標	ア		人	21,868	26,298	24,947	24,120	24,120	24,120	24,120
	イ		冊	111,629	109,924	109,916	108,643	108,643	108,643	108,643
	ウ									
上位成果指標	ア		人	21,868	26,298	24,947	24,120	24,120	24,120	24,120
	イ									
	ウ									

事務事業名	図書館管理・運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

池田図書館、井川図書館は合併年「平成18年度」から運営している。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

平成20年度蔵書検索システムを導入し管理費の経費削減が図られた。さらに、平成21年度池田図書館移転事業、移動図書館車購入を予定

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

好評

2 評価の部（SEE）＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市（町）の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 結びついている ⇒【理由】 市民の読書振興に結びついている
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市（町）が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 妥当である ⇒【理由】 人の生活するうえでその年々に応じて教養を高め、その必要性に応えるため公共サービスとして行う
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 適切である ⇒【理由】 全市民対象
有効性評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☑ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 移動図書館車の巡回地域拡大、西祖谷図書室の新設、東祖谷図書室の充実
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 影響有 ⇒【その内容】 廃止、休止した場合は、読書振興が図れない
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある （具体的な手段，事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 図書館事業の独自性による ☑ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 池田図書館移転による一時的な費用の増も発生するので削減については現在不可能
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 削減余地がない ⇒【理由】 すでに業務委託、指定管理者制度導入により実施しているため削減余地はない
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 無償貸し出しすることですべての市民が平等にサービスを受けることを有する

事務事業名	図書館管理・運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課

3　評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
② 有効性	☐ 適切	☑ 見直し余地あり
③ 効率性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり
④ 公平性	☑ 適切	☐ 見直し余地あり

(2) 全体総括（振り返り、反省点）

池田図書館移転、移動図書館車の巡回地域拡大、西祖谷図書室の新設、東祖谷図書室の充実等を実施することで市民の読書振興が図られ、市民が生涯を通じて学び、社会参加ができる生涯学習社会の実現を目指すことが可能となる

(3) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止　☐ 休止　☐ 目的再設定　☐ 事業統廃合・連携　☑ 事業のやり方改善（有効性改善）
☐ 事業のやり方改善（効率性改善）　☐ 事業のやり方改善（公平性改善）
☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

移動図書館車の巡回地域拡大、西祖谷図書室の新設、東祖谷図書室の充実

(4) 改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

成果＼コスト	削減	維持	増加
向上			○
維持			×
低下		×	×

(5) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策